



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月13日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL http://www.koikeox.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 修
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	30,593	△9.2	1,039	△32.3	1,352	5.4	599	△0.1
28年3月期第3四半期	33,677	3.4	1,534	67.1	1,282	21.4	599	30.2

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △10百万円 (ー%) 28年3月期第3四半期 335百万円 (△72.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	14.48	ー
28年3月期第3四半期	14.49	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	51,931	29,001	52.1	653.10
28年3月期	55,244	29,401	49.6	662.46

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 27,032百万円 28年3月期 27,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	ー	ー	7.00	7.00
29年3月期	ー	ー	ー		
29年3月期(予想)				9.00	9.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

29年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭 特別配当 2円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	△2.5	1,900	△15.7	2,000	0.3	1,600	33.0	38.65

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	45,229,332株	28年3月期	45,229,332株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	3,838,163株	28年3月期	3,836,253株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	41,392,449株	28年3月期3Q	41,393,951株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国経済の減速や英国の欧州連合（EU）離脱問題に加えて、米
国新政権の今後の政策に関する不確実性などの影響が懸念され、先行きは不透明感が強まりました。

一方、わが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費に持ち直しの動きがありました。設備投資や企業収益の改善
には足跡みが見られました。

当社グループの主需要先である建築業界では一部に需要回復の兆しが見られましたが、造船業界・産業機械業界
では世界的に市況が悪化したことより厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場に向けた新技術・新製品の開発、また、収益確保を目指した原
価低減、経営の効率化に取り組んでまいりましたが、その効果は限定的なものとなりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は305億93百万円（前年同期比9.2%減）、営業利益は10億39百万
円（同32.3%減）、経常利益は13億52百万円（同5.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億99百万円
（同0.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、4月に大阪で開催された「2016国際ウエルディングショー」に、定尺ハウジングタイ
プのファイバーレーザー切断機「FIBERTEC-Zシリーズ」を出展するとともに、「ウエルハンディ ミニ ストロ
ング」や「ウエルバート」などの新型溶接台車にて高品質溶接用混合ガス「スーパーシールド」を用いた実演など
を行うことにより、ガス・溶接・切断の一体販売を目的としたPRを実施し、受注につなげることができました。ま
た、5月にKOIKEテクノセンターで開催した「2016ステンレスプライベートフェア」に、新型のステンレス用ドリ
ルを搭載したプラズマ切断機を出展するとともに、国内各地で開催した「こいけ市」にポータブルNC切断機など
を出展し、好評を得ることができました。さらに、新規顧客の獲得を目的として、11月に東京で開催された
「JIMTOF2016」にファイバーレーザー切断機などを出展し、多くの引き合いを得ることができました。

海外においては、中国の造船所からの大型案件について受注を獲得するとともに、アジア向けに海外現地法人に
て製造したNC切断機の拡販活動を行い、多くの受注を獲得することができました。また、ヨーロッパ規格に対応し
た溶接機を販売するとともに、インドで開催された「Weld India 2016」に新型NC装置を出展し、市場のニーズに
合った新製品の販売を推進しました。さらに、海外グループ各社の更なる経営体質強化、既存製品のコストダウ
ン、新製品の開発を推進しましたが、造船業界や産業機械業界での世界的な市況の低迷により厳しい状況が続きま
した。

生産面においては、切断機の受注が多いことから引き続き高稼働率を維持するとともに、仕様の標準化によるコ
ストダウンを推進しました。また、市場の様々なニーズへ対応するために、ファイバーレーザー切断機の更なる改
良を行い、開発への取組を強化しました。

その結果、売上高は125億30百万円（前年同期比18.6%減）、セグメント利益は8億3百万円（同35.0%減）と
なりました。

高圧ガス

高圧ガス部門においては、「2016国際ウエルディングショー」や国内各地で開催した「こいけ市」などに溶接作
業効率向上・コストダウンに寄与する溶接用混合ガスおよびガス混合装置を出展し、好評を得ることができまし
た。また、ガス・溶接・切断の一体販売活動を積極的に実施し受注に結びつけることができました。さらに、12月
に大阪の新ガス充填工場を稼働させ、関西地区における拡販活動を実施し新規顧客の獲得に努めました。しかしな
がら、工業ガスではオリンピック関連の解体業等への需給増加による一部の業種における回復基調が見られるも
の、依然として主力の鉄工・建機関連における需要が低迷しており、酸素の販売量は低調に推移しました。

生産面においては、引き続きガス製造工場のリスク対策を強化して保安徹底と安全確保にむけた取組を進めると
ともに、安定供給・品質確保・原価低減に努めました。

医療分野においては、引き続き主力のディスポ吸引ライナーの売上が増加するとともに、CPAP（持続陽圧呼吸
器）において堅調にレンタル契約を伸ばすことができました。一方、酸素濃縮器は販売件数を伸ばすことはできま
したが、レンタル契約単価の下落により収益は低迷しました。

その結果、売上高は117億90百万円（前年同期比2.7%増）、セグメント利益は6億49百万円（同6.9%減）とな
りました。

溶接機材

溶接機材部門においては、「2016国際ウエルディングショー」に、小型の溶接機・切断機の実演や安全保護具のPRを行うとともに、新型マグネット「PLSシリーズ」を出展し、受注獲得に向けた営業活動を推進しました。また、輸入商材である金属補修材の営業活動の強化や取扱商材の拡充を行うとともに、溶接機器・マグネット・安全器を対象とした「2016年サマーセール」および「2017年初荷セール」の実施や国内各地で開催した「こいけ市」にて溶接用液晶保護面および安全器商品を出展し、拡販活動を行いました。さらに、主要商材を対象とした予実管理の徹底や販売活動を強化しました。

しかしながら、主需要先である建築業界では一部に需要回復の兆しが見られたものの、造船業界や産業機械業界では本格的な需要回復に至らず、国内向けの安全器・マグネットや輸出向けのガス継手の出荷減少により、昨年を下回る販売量となりました。

その結果、売上高は59億72百万円（前年同期比7.2%減）、セグメント利益は1億62百万円（同11.4%減）となりました。

その他

その他の部門においては、ヘリウム関連機器の品質向上・原価低減に引き続き取り組むとともに、大学研究機関を中心に積極的に営業活動を行い、今年度末にヘリウム液化機1台の納入を予定しております。また、機器の保守・定期点検などについて継続的に営業活動を行っています。

排ガス処理装置については、製品の品質・機能の向上・原価低減に取り組むとともに、台湾の代理店に駐在員としてセールスエンジニアを派遣し、大型液晶画面向けの需要に対して営業活動を実施しましたが、大型案件の受注には至りませんでした。

その結果、売上高は2億99百万円（前年同期比18.2%減）、セグメント利益は3百万円（同62.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明**(資産)**

当第3四半期連結会計期間末の総資産は519億31百万円で、前連結会計年度末比33億12百万円の減少となりました。

流動資産合計は282億64百万円で、前連結会計年度末比40億23百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が21億96百万円減少、受取手形及び売掛金が8億96百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は236億66百万円で、前連結会計年度末比7億10百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券が7億36百万円増加したことによるものです。

(負債)

流動負債合計は175億10百万円で、前連結会計年度末比25億99百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が6億12百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が3億39百万円減少、未払法人税等が4億95百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は54億19百万円で、前連結会計年度末比3億13百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が3億80百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は290億1百万円で、前連結会計年度末比3億99百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金が2億26百万円増加、その他有価証券評価差額金が4億91百万円増加の一方、為替換算調整勘定が10億95百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は52.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。詳細につきましては、「平成28年3月期決算短信」3ページ 1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析 (2) 次期(平成29年3月期)の見通しを参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,425	7,228
受取手形及び売掛金	13,809	12,912
商品及び製品	4,579	4,024
仕掛品	1,568	1,718
原材料及び貯蔵品	1,872	1,444
その他	1,255	1,111
貸倒引当金	△222	△176
流動資産合計	32,288	28,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,139	4,505
機械装置及び運搬具(純額)	1,537	1,374
工具、器具及び備品(純額)	436	330
土地	10,177	10,140
リース資産(純額)	1,110	1,182
建設仮勘定	216	42
有形固定資産合計	17,617	17,575
無形固定資産		
のれん	32	43
リース資産	14	14
その他	241	233
無形固定資産合計	287	290
投資その他の資産	5,051	5,800
固定資産合計	22,956	23,666
資産合計	55,244	51,931

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,450	6,837
電子記録債務	3,560	3,472
短期借入金	3,757	3,515
1年内返済予定の長期借入金	1,070	731
1年内償還予定の社債	20	—
未払法人税等	580	84
賞与引当金	565	223
役員賞与引当金	75	45
受注損失引当金	12	23
製品保証引当金	75	51
関係会社整理損失引当金	1	—
その他	2,940	2,525
流動負債合計	20,109	17,510
固定負債		
長期借入金	1,159	778
役員退職慰労引当金	212	168
退職給付に係る負債	141	152
資産除去債務	14	14
その他	4,205	4,305
固定負債合計	5,733	5,419
負債合計	25,843	22,929
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,357	2,354
利益剰余金	18,595	18,821
自己株式	△917	△918
株主資本合計	24,063	24,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	996	1,487
土地再評価差額金	1,272	1,272
為替換算調整勘定	989	△106
退職給付に係る調整累計額	100	93
その他の包括利益累計額合計	3,358	2,746
非支配株主持分	1,980	1,969
純資産合計	29,401	29,001
負債純資産合計	55,244	51,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	33,677	30,593
売上原価	24,487	22,177
売上総利益	9,190	8,415
販売費及び一般管理費	7,655	7,376
営業利益	1,534	1,039
営業外収益		
受取利息	18	11
受取配当金	69	82
受取賃貸料	88	116
持分法による投資利益	32	35
物品売却益	24	18
為替差益	—	89
貸倒引当金戻入額	17	39
その他	46	34
営業外収益合計	297	427
営業外費用		
支払利息	75	66
賃貸費用	25	27
為替差損	417	—
その他	30	19
営業外費用合計	549	114
経常利益	1,282	1,352
特別利益		
固定資産売却益	54	18
投資有価証券売却益	0	—
その他	0	0
特別利益合計	54	18
特別損失		
固定資産除売却損	31	16
減損損失	70	12
投資有価証券売却損	—	0
関係会社株式評価損	—	144
関係会社整理損	79	—
関係会社整理損失引当金繰入額	11	—
その他	0	23
特別損失合計	193	196
税金等調整前四半期純利益	1,144	1,174
法人税、住民税及び事業税	651	230
法人税等調整額	△218	259
法人税等合計	432	489
四半期純利益	711	685
非支配株主に帰属する四半期純利益	112	85
親会社株主に帰属する四半期純利益	599	599

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	711	685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△379	499
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	31	△1,187
退職給付に係る調整額	△29	△6
その他の包括利益合計	△376	△695
四半期包括利益	335	△10
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226	△12
非支配株主に係る四半期包括利益	108	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	15,393	11,486	6,432	33,312	365	33,677	—	33,677
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	15,393	11,486	6,432	33,312	365	33,677	—	33,677
セグメント利益	1,236	698	183	2,118	8	2,126	△591	1,534

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△591百万円には、セグメント間取引消去123百万円、のれんの償却額2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△761百万円、棚卸資産の調整額60百万円、その他の調整額△17百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	12,530	11,790	5,972	30,294	299	30,593	—	30,593
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	12,530	11,790	5,972	30,294	299	30,593	—	30,593
セグメント利益	803	649	162	1,616	3	1,619	△580	1,039

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△580百万円には、セグメント間取引消去90百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△794百万円、棚卸資産の調整額125百万円、その他の調整額△1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	10,712	76.6
高压ガス (百万円)	293	106.0
報告セグメント計 (百万円)	11,005	77.1
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	11,005	77.1

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	7,269	68.5	3,520	63.5

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	12,530	81.4
高压ガス (百万円)	11,790	102.7
溶接機材 (百万円)	5,972	92.8
報告セグメント計 (百万円)	30,294	90.9
その他 (百万円)	299	81.8
合計 (百万円)	30,593	90.8

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。